

東京文化会館

JR上野駅の公園口の改札口を出ると左手側に東京文化会館が、正面に上野動物園の入園口、そして右手側に国立西洋美術館の建物が、いやでも目に入ってきます。そこで今回は東京文化会館についてふれてみたいと思います。

東京文化会館は、東京都開都500年祭の記念事業として1961年4月7日に開館されました。今でこそ最新の音響工学の粋を結集させた本格的なクラシックの音楽のコンサートホールは各地で目にするようになりましたが、東京文化会館は、その先駆的存在だと言えます。事実、ベルリンフィルやイタリア歌劇団など来日した世界の著名なオーケストラや歌劇団などはここで公演を行っています。それだけコンサートホールとしては高評価を得ていたわけです。



しかし、時代は動いています。いつしか新興勢力とも言うべき新ホールの開館によって、東京文化会館は、「古いコンサートホール」といったイメージが定着しつつあったのも事実です。そうした雰囲気の中、2014年に本格的な建物の改築・改修工事を終えてリニューアル・オープンをしました。今や東京文化会館はクラシック音楽界にとっては聖地と言えるでしょう。



上野の名所の一つとなったこのホールは、よく知られているように建築家・前川國男によって設計されたものです。

前川は日本に真の近代建築を根づかせることを決意して海外に学びの場を求めました。フランスではル・コルビュジェ、アメリカではアントニン・レーモンドに師事。モダニズム建築の旗手として第二次世界大戦後の日本の建築界のリーダーとしての役目を果たしました。

東京文化会館と道を一つへだてて国立西洋美術館があります。1959年6月10日の開館ですから上野公園の中では東京文化会館より少し先輩です。設計者はル・コルビュジェ。師弟の作品が向き合っているというのも何かの「縁」なのではないでしょうか。もっとも西洋美術館の建設にあたっては前川の協力が大きかったのも事実です。2016年にユネスコは西洋美術館を世界遺産として登録しています。

それはさておき、JR上野駅公園口改札口から徒歩1分。東京文化会館でのコンサートにおいての節は、かつてこの舞台上で公演した世界のビッグスターたちに想いを馳せてクラシック音楽をお楽しみください。カラヤンが、バーンスタインが、セイジ・オザワたちが頭の中にきっとよみがえってくるでしょう。

